

# デンカ

## プラスチック TYPE-UCL

耐塩害性高強度無収縮モルタル

デンカ プラスチック TYPE-UCL



Denka

耐塩害性高強度無収縮モルタル

# デンカ プレタスコンTYPE-UCL

当社はグラウト用無収縮材のパイオニアとして、多様化するグラウト工事に対し材料開発・改良を続けております。「デンカプレタスコンTYPE-UCL」は、当社独自の塩素固定化技術と高強度技術を組み合わせて開発したグラウト用無収縮モルタルです。塩害対策と高い強度発現が求められるグラウト工事に最も適した製品です。



市販無収縮モルタル



プレタスコンTYPE-UCL

塩分溶液に28日間浸漬後の塩化物イオン浸透状況 (JISA1171)  
※モルタル硬化体の発色していない部分が塩化物イオン浸透部分

## 1

### 特長

#### ①耐塩害性に優れます。

当社独自の塩素固定化技術と高強度技術の組み合わせにより、モルタルが緻密化され、塩化物イオンの浸透を抑制します。

#### ②高強度を発現します。

若材齢から高い強度を有し、長期強度の発現性に優れます。適切な養生により、打設後1日～3日で実用強度が得られます。

#### ③施工が容易です。

ブレミックタイプのため、現場で水と練り混ぜるだけで安

定した品質のモルタルが得られます。モルタルの流動性が優れており、空隙のないグラウトを可能にします。

#### ④構造物との一体化が図れます。

空隙の発生を招くブリーディング現象がなく、適度の膨張性と長期に安定した無収縮性により、沈下・収縮を防ぎ、構造物との付着性を高めます。

#### ⑤経済的です。

優れた品質と良好な施工性から、総合的に工事費を削減できます。

## 2

### 主な適用箇所

- 塩害を受けやすい場所でのグラウト工事
- コンクリート二次製品のジョイントグラウト工事
- その他グラウト工事

## 3

### 一般仕様

- ①荷姿：25kg紙袋
- ②結合材／細骨材比：1／1
- ③外観：セメント系灰白色
- ④水量範囲：3.6～4.0kg／1袋(25kg袋)

## 4

### 標準配合と1袋当りの配合

1m <sup>3</sup> 当りの標準配合	製品	目標軟度 J <sub>14</sub> 漏斗流下値 (秒)	W/材料 (%)	単位量(kg/m <sup>3</sup> )		1m <sup>3</sup> 当りの 使用量
				材料	水	
	プレタスコンTYPE-UCL	8±2	15.2	2,000	304	80袋

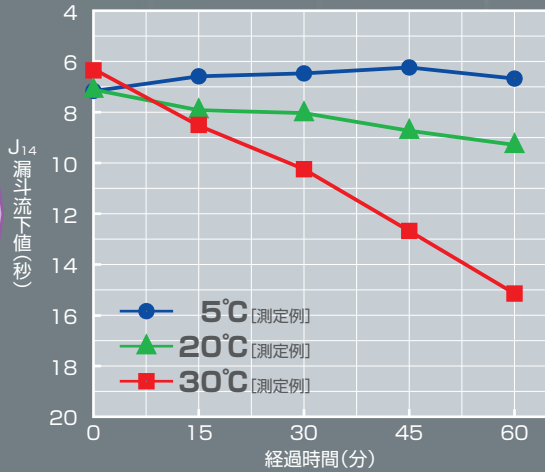
1袋(25kg)当りの標準配合	製品	目標軟度 J <sub>14</sub> 漏斗流下値 (秒)	W/材料 (%)	質量(kg)		練上り モルタル量 (ℓ)
				材料	水	
	プレタスコンTYPE-UCL	8±2	15.2	25	3.8	約12.5

# 5

## モルタルの物性例

[測定例]

流動性



遮塩性

種類	塩化物イオン浸透深さ (mm)
	28日
プレタスコン TYPE-UCL	0.0
普通コンクリート*	10.0

\*呼び強度24N/mm<sup>2</sup>、W/C=55%、s/a=45%、C=320kg/m<sup>3</sup>

[測定例]

一般物性

製品	養生温度 (°C)	水量 (kg/1袋)	ブリーディング率 (%)	膨張収縮率 (%)	凝結時間(時一分)	
					始発	終結
プレタスコン TYPE-UCL	5	4.0	0.00	0.25	17-10	24-00
	20	3.8	0.00	0.33	7-30	9-10
	30	3.9	0.00	0.36	5-30	7-00

[測定例]

強度性状

製品	養生温度 (°C)	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )				付着強度 (N/mm <sup>2</sup> )*
		1日	3日	7日	28日	28日<20°C>
プレタスコン TYPE-UCL	5	3.8	38.7	63.8	87.9	3.7
	20	34.0	68.2	83.9	102	
	30	46.1	71.9	90.0	108	

\*NEXCO試験法312

# 6

## 使用上の注意点

### 練混ぜ

- 練混ぜ水は、油、塩類、有機物などを含まない清浄な水を使用してください。
- 使用水量は、材料温度、環境温度、ミキサの形式、練り量などにより変化しますので、あらかじめ試験練りを行って、水量範囲の中で適正水量を確認してください。
- 練混ぜには、750rpm~1000rpmのグラウトミキサや、900rpm以上のハンドミキサ等の高速ミキサを使用し、1分~2分間練混ぜを実施して使用してください。ハンドミキサの回転翼はステンレス製や鉄製の物を使用し、**アルミ製は異常膨張の原因となりますので絶対に使用しないでください。**
- 練混ぜ水が適正な量でない場合、硬化体に異常が生じ、無収縮グラウト材の性能が損なわれますので、指定の水量以外では使用しないでください。
- J<sub>14</sub>漏下流下値にて目標軟度を外れる場合は、上記範囲で水温、水量の調整を行ってください。

### コンクリート表面の清掃

- 注入前にコンクリート表面の油類、レイタンス層、汚泥を除去するとともにコンクリートに十分清水を吸水させてください。

### 注入・充填

- グラウト注入の前に、周囲の既設コンクリートにプライマーの塗布または水打ちを実施してください。

- グラウトは、自重圧工法またはポンプ施工により片側から注入・充填を開始し、流出側からモルタルがあふれ出るまで連続的に注入してください。巻込み空気や未充填部が残らにような処置を行ってください。
- モルタルは高アルカリ性ですので、アルカリ性の環境条件で腐食するもの(アルミサッシ等)には、直接モルタルが触れるような施工は避けてください。

### 養生

- グラウト施工終了後、モルタル表面を養生マット等で覆って、直射日光や風の影響を避け、絶えず湿っている状態に保持してください。冬場等で外気温が低い場合(5°C以下)には保温養生を施してください。養生が不足しますとグラウト表面にヘアクラックが生ずることがありますので、必要に応じて養生剤「RISフルコート」を塗布してください。
- モルタル露出部分は、急激な乾燥や長期にわたる乾燥によってひび割れが発生することがあります。
- 圧縮強度測定用の型枠は、内側にハクリ剤を塗布し、モルタル流込み後は、ラップ等で表面の乾燥を防いでください。

### 製品の保管上の注意

- 普通セメントより吸湿性が高いため、いったん開封したものはその日のうちに使用してください。
- 製品は直射日光、雨水の影響を受けない乾燥した室内に貯蔵保管してください。

本社  
東京都中央区日本橋室町2-1-1 (日本橋三井タワー) 〒103-8338  
電話03-5290-5363

大阪支店  
大阪市北区角田町8-1 (大阪梅田ツインタワーズ・ノース) 〒530-0017  
電話06-7176-7456

名古屋支店  
名古屋市中村区名駅南1-24-20 (名古屋三井ビルディング新館) 〒450-0003  
電話052-571-4535

福岡支店  
福岡市博多区冷泉町5-35 (福岡祇園第一生命ビル) 〒812-0039  
電話092-263-0841

札幌支店  
札幌市中央区南2条西2-18-1 (NBF札幌南二条ビル) 〒060-0062  
電話011-281-2301

北信越オフィス  
新潟県糸魚川市大町1-7-11 〒941-0061  
電話025-550-6726

デンカイノベーションセンター  
東京都町田市旭町3-5-1 〒194-8560  
電話042-721-3660

青海工場 青海インフラ技術研究部  
新潟県糸魚川市大字青海2209 〒949-0393  
電話025-562-6306



### データ等記載内容についてのご注意

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかおよび安全性については、貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。  
これらの資料は、当社の担当部門にご用意してありますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。



警 告



- 水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こします。
- 目に入れないこと。入った場合は、直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けること。●皮膚に付けないこと。
- 鼻や口に入れないこと。●保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用すること。●子供に触れさせないこと。

デンカ株式会社 特殊混和材部

本社：東京都中央区日本橋室町2-1-1 電話03-5290-5363